

2025 年度 第 1 回 兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会報告書

医療安全業務監査委員会は、兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会規程第 2 条に基づき監査を実施しましたので、その方法及び結果につき以下のとおり報告します。

1. 監査方法

兵庫医科大学病院における医療安全に係る業務の状況について、病院管理者等からの聴取及び当委員会から事前提示を求めた資料を閲覧する等の方法によって監査を実施しました。

- ・ 日 時：2025 年 7 月 10 日（木）15 時 30 分から 16 時 38 分
- ・ 場 所：兵庫医科大学病院 10 号館 3 階 第 3 会議室
- ・ 委員長：宮崎 浩彰（関西医科大学 理事長特命教授（医療安全担当））
- ・ 委 員：亀井 尚也（かけはし法律事務所 弁護士）
辰馬 勝（関西学院同窓会 顧問）

2. 監査実施項目

（1）業務状況報告

- ① 前回の業務監査委員会の提言に対する回答
- ② 医療安全管理部年間業務状況報告（医療安全管理責任者の業務報告も含む）
- ③ 医療安全審議委員会報告
- ④ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ⑤ 医療機器安全管理責任者業務状況報告
- ⑥ 医療放射線安全管理責任者業務状況報告

（2）手術室以外で行われる内視鏡検査/治療に係る医療安全対策

- ① 手術室以外で行われる内視鏡検査/治療に係る医療安全チェックリスト
- ② 医療上の事故事例の対応状況
- ③ 放射線検査機器の無資格操作防止策について

3. 監査結果

（1）業務状況報告

- ① 前回の業務監査委員会の提言に対する回答

前回の本委員会の報告書で求めていた 2024 年度の診療用放射線の安全利用のための講習会の受講率向上については、受講案内の徹底や診療科別の受講率の提示と受講勧奨、個別指導などにより対象者全員の受講を完了されたことを確認しました。また、2025 年度は一連の医療安全講演会の一項目ではなく独立した必須講習とされることが決定しており、対象者全員が受講を完了する日時の前倒しが期待されます。

② 医療安全管理部年間業務状況報告（医療安全管理責任者の業務報告も含む）

まず、院内ラウンドについては、転倒転落事故防止ならびに薬剤の与薬に関する手順の遵守などに関するラウンドが行われ、現場での実施状況の確認ならびにフィードバックが行われていることを確認しました。

次に、有害事象に関する報告や検証が適切に行われていること、中心静脈穿刺時の合併症や転倒転落発生件数など複数の項目がモニタリングされ、改善につながれていることを確認しました。特に中心静脈カテーテル挿入・抜去については医療安全調査機構からの提言が2度にわたり発出されるなど医療安全上の課題となっています。病院ではエコーガイド下 CVC 挿入推進チームを形成し、講習会開催や安全な挿入の支援に取り組まれるなど先駆的な取り組みが機能していますが、今後も効果的な改善施策を提案実施されることを期待します。

また、2024 年度における職員を対象とした医療安全講習会は5回開催され、報告書確認サポートチームなど各部署が啓発に努めたことを確認しました。報告書の未読による診療遅延は解決困難な世界的な課題であり、継続的かつ効果的な活動を期待します。

今回の本委員会では、医療安全管理部門の2025年度の目標と達成計画、進捗状況について報告してください。

③ 医療安全審議委員会報告

事実関係報告書は期限内に提出されるように働きかけ、かなり改善されたことを確認しました。医療機関内における事故その他の報告を求める事案が発生した場合には、当該事案が発生した日から2週間以内に報告書を作成することは医療法施行規則に規定されていますので、周知徹底をお願いします。

なお、委員会は報告された事案について協議し、必要な再発防止策を講じられていることを確認しました。

④ 医薬品安全管理責任者業務状況報告

医薬品の安全使用のために必要となる未承認および適応外使用医薬品に関する情報収集が行われ、特に適応外使用医薬品についてはリスクを4分類し、危険薬ほか患者に影響を及ぼす医薬品については年2回のモニタリングを実施し、その結果を会議体に報告していることを確認しました。

また、「医療安全ニュース」を用いて医薬品安全使用のための注意喚起情報の周知を図ることや病棟薬剤師によるプレアボイド報告を各種会議体で取り上げるなど医薬品の安全管理が適切に行われていることを確認しました。

引き続き医薬品安全管理の充実に努められることを期待します。

⑤ 医療機器安全管理責任者業務状況報告

医療機器管理については、医療機器の保守点検が計画的に実施されていることと必要な医療機器研修の実施記録が各部門から適切に報告されていることを確認しました。

⑥ 医療放射線安全管理責任者業務状況報告

前述のように 2024 年度の診療用放射線の安全利用のための講習会は受講率 100%を達成されたことを確認しました。また、各部署の線量管理が確実に行われていることを確認しました。引き続き医療スタッフが適切な線量で診療されることを期待します。

(2) 手術室以外で行われる内視鏡検査/治療に係る医療安全対策

① 医療安全業務監査委員会チェックリスト

手術室以外で行われる内視鏡検査/治療に係る医療安全対策についてはマニュアル整備のほか、検査/治療前に禁忌薬や術前中止薬、患者ごとのリスク要因などを関係職員が抜け漏れなく把握する仕組みがあることを確認しました。また、検査/治療中の生体モニタリングが各ルームのみならず処置室に設置されたセントラルモニタでも監視されていることなど充実した安全対策が講じられていることを確認しました。さらに、手技において模擬体を用いた訓練が行われ、その習熟度を評価する体制がとられていることも確認でき、病院のガバナンスも保たれていると評価されます。

しかし、内視鏡治療時の手技や鎮静は、新たに着任した医師が病院の安全対策を理解しないまま実施することがあれば重大な事故につながりかねませんので、引き続き教育や安全対策の充実を期待します。

② 医療上の事故事例の対応状況

手術室以外で行われた内視鏡治療に関するインシデントなどについて報告があり、詳細な検討により再発防止策が検討、実行されていることを確認しました。

③ 放射線検査機器の無資格操作防止策について

本件については詳細に検討され、不当な行為はなく行政機関に適切に報告されていることを確認しました。医療の高度化ならびに細分化に伴い病院職員以外の者が診療を確認・支援する機会は増えるかもしれません。引き続き院内ルールを点検し、医療が有資格者により適切に提供されることを求めます。

4. まとめ

医療安全に係る業務について監査を実施しましたが、適正な管理が行われ、病院のガバナンスならびに医療安全管理体制が機能していることを確認しました。当委員会としては、引き続き改善活動について検証するとともに医療安全管理体制の強化や医療安全文化の向上が継続的に図られることを期待します。

2025 年 9 月 1 日

兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会

委員長	宮崎	浩彰
委員	亀井	尚也
委員	辰馬	勝